

皆さん、こんにちは！

今年の夏は、これまでの記録が次々と更新される猛烈な暑さが続きました。全国 927 ヶ所の気温の観測点のうち 143 ヶ所で、統計を取り始めてから最も高い気温を観測しました。高知の四万十市で 41℃を記録したのも話題になりましたね。

また、猛暑だけでなく集中豪雨の被害に見舞われた地域も多く、北日本や西日本各地では、1 時間当たりの雨量が 100 ミリを超えるところが相次ぎました。関東でも豪雨や落雷による停電などが例年以上に多かった印象があります。

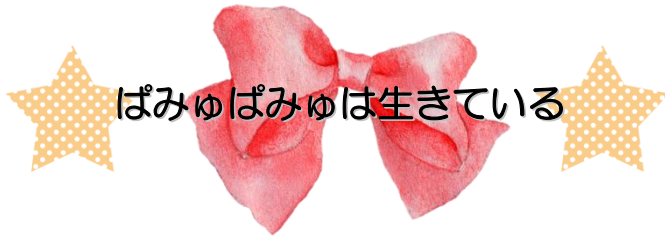
気象庁では異常気象分析検討会を開き、原因を調べることにしているとのこと。地球温暖化の進行に伴って、世界規模の異常気象が今後も続く可能性が指摘されているのは心配なことですね。今後もその動向を注視していきたいものです。

それでも、ちゃんと季節は動いています。残暑の中にもいくぶん風の涼しさを感じられ、空の色や雲の形が真夏とは違っていることに気づきます。日中はまだ蝉の声が賑やかでも、夜になると、どこからか虫の音が聴こえてくるようになりました。秋の気配を感じますね。

過ごしやすいとなると同時に、夏の疲れが出る頃でもあります。十分休養を取り、日々の健康管理をお心がけください。

では、今月もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。





ばみゅばみゅは生きている

きゃりーばみゅばみゅって言いたいのに、「ぴゃむぴゃむ」や「ばむばむ」になってしまうのはなぜ...?これはまずい、ついに今どきの言葉に舌がついていけなくなったかとプチショックを受けておりました。がしかし、少し調べてみると、どうやら齡のせいだけではないらしい。元々「ミュ」という音が日本語にはあまりないために「ばみゅ」は発音しづらいもののようなのですね。負け惜しみではありません。事実、他にも例はあり、例えば外来語の「シミュレーション[simulation]」は、「シュミレーション」と誤用(?)されることが多く、音もそちらの方が日本人にはしっくりくるかもしれません。つまり、誰が先導するでもなく、みんなが言いやすい方に少し言葉が入れ替わった外来語が自然に流布していくわけで、さすが、言葉は生き物でございます。

外来語でなくても同じです。数年前、「雰囲気」を「ふいんき」と読む人が増えたというのを新聞で読み、うわーそれはダメでしょ、漢字からして絶対「ふんいき」だしそれじゃ不陰気になっちゃうでしょー?と思ったのを覚えています。その傾向は年々強まっているようで、今やインターネットには“ふいんき”って入力したのに漢字変換されないんですが?”という疑問がたくさんあがっているほどです。どうして「ふいんき」派が増えたかということ、やはりその方が言いやすいから。そして調べてみると、これも同様の例がありました。例えば植物の「さざんか(山茶花)」は元は漢字の通り「さんざか」だったし、「新らし」は「あらたし」だったとか。どちらもいつの間にか言いやすい方に変化したそうです。となると、雰囲気が「ふいんき」になるのも時間の問題かもしれませんね。

ずっと「ふんいき」と信じてきた私には、言いにくいといわれてもピンときませんが、一説に「ン」の後に母音「イ」が来るのが発音しにくい、といわれます。確かにモデルの「ヨンア」さんとか、ちょっと言いにくいかも。でもじゃあ「ケンイチ」はどうなるんだ、普通に言えますけど?などとなって、説得力は今ひとつ。それに、ふんいき、ふいんき、ふんいき、ふいんき...と言ってみると、おや?ふいんき、言いやすいかも。きゅーばみゅばみゅだって今はうまく言えるし、結局、どれだけ耳慣れ、言い慣れているかってことなのか?などと思いつつ、ふと自分のパソコンに「ふいんき」と入力してみたら、なんと変換リストの最後尾にひっそり「雰囲気」の文字が...。うわ、もうそういうことですか。私たちは今、「雰囲気」が「ふんいき」から「ふいんき」に変態する現場に珍しくも立ち会っているのかもしれないね。どうでもいいこととも言えますが、今この瞬間も変態中のふんいき、ふいんき、ふんいき、ふいんき。みなさんはどちら派ですか?

というわけで、空気の読み方ではない、雰囲気の読み方のお話でした。

飯島 典子 (いいじま のりこ)



カウンセリングルームからのお知らせ

○待合室の各種チラシをご利用ください

近隣の講演会や、当室カウンセラーが講師を務める研修会、精神保健ボランティアグループ主催のプログラム、メンタルヘルスについてのパンフレットなど各種ご案内を待合室に置いてありますので、どうぞご利用ください。詳しくは受付にお尋ねください。

○「こころの電話相談」のご案内

精神保健福祉センターの相談窓口です。精神科や心療内科での治療、社会復帰・生活上の問題など、精神保健に関する様々なご相談を承ります。夜間に対応していますので、何かお困りの際は一人で悩まずに、こちらにご連絡ください。

TEL：042-769-9819（月～土曜日 17～22時）

○お電話・メールでのご予約・変更について

当カウンセリングルームではお電話・メールでもご予約・変更を承っております。ご連絡の際には当カウンセリングルームのご予約カードをご用意ください。お申し出の際に、ID番号・お名前・担当カウンセラーをお伝えください。新たにご予約・変更した際には、ご予約カード裏面のご予約表に、お日にち・お時間の記載をお願い申し上げます。ご協力よろしくお願い申し上げます。

本誌の表題「うがみやぶら」は、鹿児島県奄美地方の「こんにちば」というあいさつを意味したことで、「おがみあげてそろろう(拝み上げて候)」が転じたとされています。

発行・編集：特定非営利活動法人神奈川県メンタルヘルスサポート協会

相模原市南区相模大野 5-29-23

TEL 042-748-3532 FAX 042-815-3990

メールアドレス mail@msak.jp

2013年9月1日